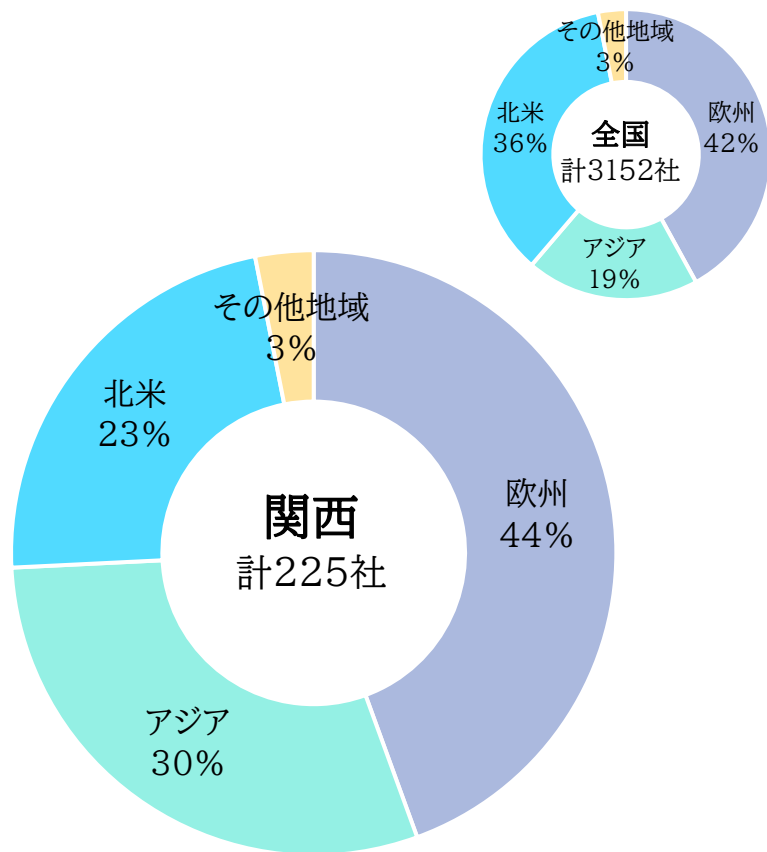


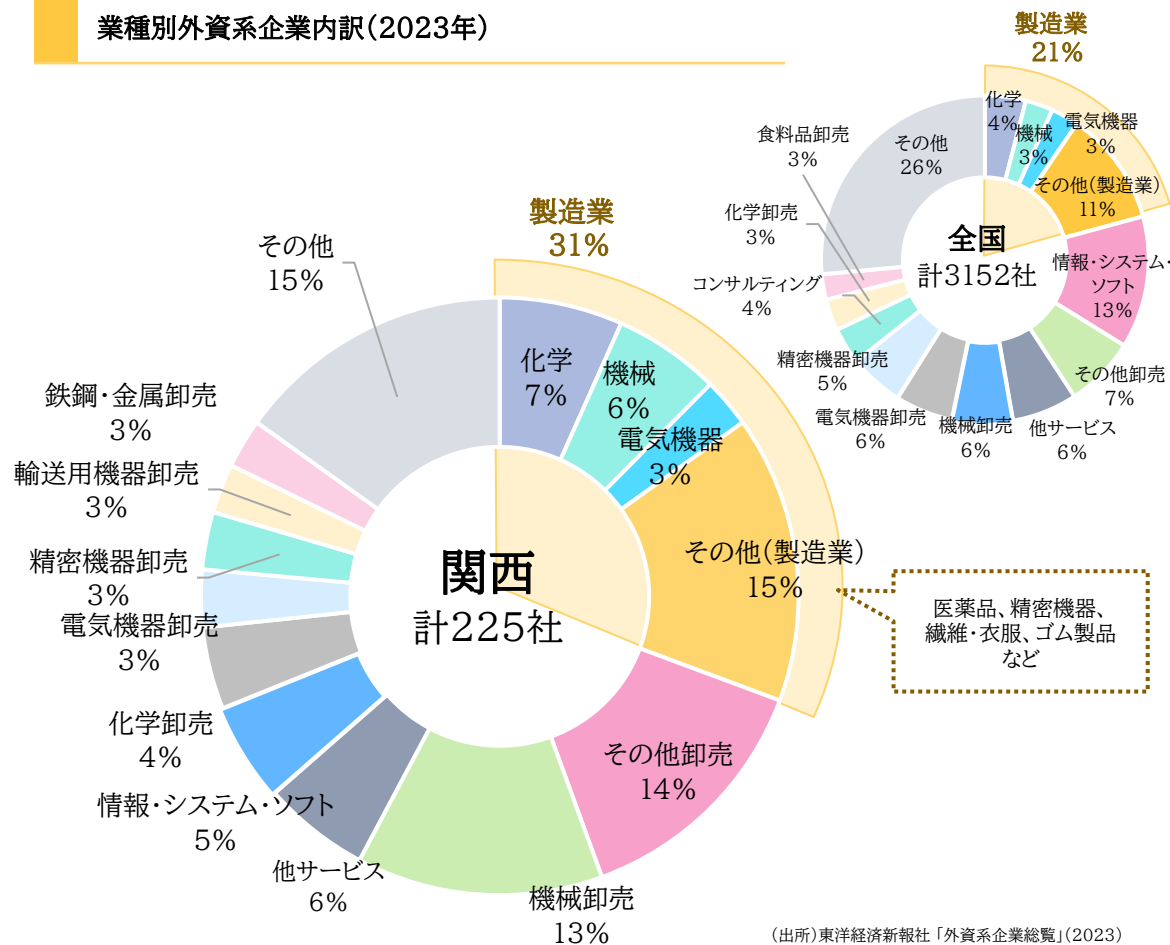
6-1 外資系企業の進出状況

- 関西に進出している外資系企業は、米国やヨーロッパ系の企業が多くを占めていますが、アジア系企業も約30%と、全国の約20%よりも高い割合です。
- 外資系企業を業種別にみると、関西は製造業（機械、化学、医薬品、精密機器など）が約31%を占め、全国の約20.8%に比べて高くなっています。

地域別外資系企業内訳（2023年）



業種別外資系企業内訳（2023年）



（出所）東洋経済新報社「外資系企業総覧」（2023）
 ※外資系：外資比率20%以上（一部支社等も含む）

6-2 関西に進出している外資系企業例

社名	分野	拠点	親会社国籍	社名	分野	拠点	親会社国籍
バイエル薬品(株)	医薬品	滋賀、大阪	ドイツ	(株)セールスフォース・ジャパン	情報・システム・ソフト	大阪、和歌山	アメリカ
アストラゼネカ(株)	医薬品	滋賀、大阪	イギリス	合同会社ユー・エス・ジェイ	レジャー、娯楽	大阪	アメリカ
アボットジャパン合同会社	医薬品	京都、大阪、兵庫	アメリカ	日本タタ・コンサルタンシー・サービス(株)	コンサルティング	大阪	インド
日本イーライリリー(株)	医薬品	兵庫	アメリカ	Plug and Play Japan(株)	他サービス	京都、大阪	アメリカ
BASFジャパン(株)	化学	大阪、兵庫	ドイツ	テュフ ラインランド ジャパン(株)	他サービス	大阪	ドイツ
P&Gジャパン合同会社	化学	滋賀、大阪、兵庫	アメリカ	AIGジャパン・ホールディングス(株)	他サービス	大阪	アメリカ
レカロ(株)	輸送機器 精密機器	滋賀	ドイツ	ICONクリニカルリサーチ合同会社	他サービス	大阪	アイルランド
ネスレ日本(株)	食料品	大阪、兵庫	スイス				
日本キャタピラー合同会社	機械卸売	福井、滋賀、京都、 大阪、兵庫、奈良、 和歌山	アメリカ	(出所)「2023外資系企業総覧」(東洋経済新報社)もしくはJETRO・O-BIC支援企業情報を元に作成 ※掲載企業名は本社以外にも営業・販売拠点及び研究所を含む。			
ハイアールジャパンセールス(株)	電気機器卸売	大阪	中国	表内の府県名は関西エリアの拠点場所 (下線部:日本拠点本社のある府県) 表内の国名等は親会社の国名・地域名			
ディーゼルジャパン	繊維・衣服卸売	大阪	イタリア				
イケア・ジャパン(株)	その他卸売	大阪、兵庫	オランダ	○近畿経済産業局のウェブサイトでは、関西に進出している外資系企業の インタビュー記事を紹介しています。 「外国企業進出事例」 https://www.kansai.meti.go.jp/3-1toukou/invest_kansai/case_study.html			
グリッブルジャパン(株)	その他卸売	兵庫	イギリス				
svanehoj Japan	その他卸売	兵庫	デンマーク				



6-3 外資系企業インタビュー（Anjet Research Lab株式会社）

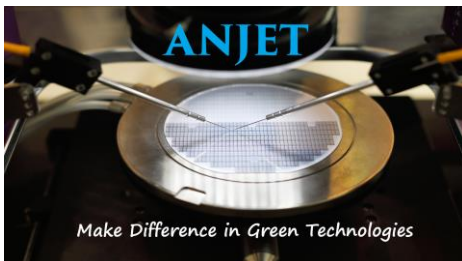
事業概要

- 台湾のANJET Corporationの研究開発部門として、2019年に京都に設立。
- 台湾の先進的なものづくり技術と、日本の高い設計技術を融合させることで、効率的な電力変換や熱管理といった業界のニーズに応える高性能なパワー半導体デバイスを開発。ウエハー材料企業やモジュールメーカーらと連携した水平分業方式での事業展開を目指す。

ANJET

ANJET Research Lab Co., Ltd.

●関西への進出経緯と、京都の魅力を教えてください



台湾は半導体の製造において世界的に際立ったプレゼンスを誇る一方で、日本にはパワー半導体の設計技術やシミュレーションにおいて一日の長があります。この両国の強みを組み合わせ、水平分業方式での事業展開を目指し、当社を設立しました。

京都には**世界的なシェアを持つ製造装置メーカーも多く、半導体産業が集積**しています。

加えて、**大学や研究機関の集積**もあり、京都大学だけでなく、化合物半導体(SiC, GaN etc.)の研究が進んでいる奈良先端科学技術大学院大学、大阪大学や立命館大学などにもアクセスは容易です。そのため、モジュール、デバイスから基本物性まで、**知も人材も豊富な地域**です。

当社のように大学と連携し、アカデミアの最先端の研究成果を取り入れた製品開発をする研究開発型の企業にとっては環境が整っていますし、以前に京都の半導体メーカーで働いていた同僚同士で起業したということもあり、必然的に日本における研究拠点は京都に設立することになりました。

また、京都では半導体だけでなく、バイオ研究も盛んで、多くの大学や研究機関で研究が進んでいます。

そういった**「知の集積」は、京都という地域の「地の利」**だと思っています。

日本には多くの優れた設計技術者が存在しますが、近年、彼らが他国に流出する傾向にあります。当社では、優秀なエンジニアを全国から京都に集め、持続可能なエネルギー社会の実現に向けた質の高いパワー半導体デバイスを創り出すことで、次世代のエネルギーソリューションを提供していきたいと思っています。

●進出時には、どのような公的サポートを活用しましたか？

JETRO京都:開業サポート(銀行口座開設、登記手続、物件紹介等)

中小機構: インキュベーション施設への入居支援

京都市: 賃料補助

JETRO京都に全面的にサポートしてもらい、開業手続をスムーズに進めることができました。また、当社が入居する中小機構のインキュベーション施設「京大桂ベンチャープラザ」は、京都大学桂キャンパスに隣接しているので、産学連携する上で、大きなメリットとなっています。

こういった様々なサポートを活用することで、**初期のコストを抑えながら、事業の立ち上げに集中**することができました。



●これから進出を考えている企業へのメッセージ

当社は、早い段階でJETROの香港事務所に相談をしたのが良かったと思っています。京都市も半導体産業支援に力をいれており、「(仮)京都半導体バレー構想」を打ち立て、**半導体分野での産学官連携の強化や、高度な知識や技術を持つグローバル人材の誘致**などに取り組もうとするなど、京都では半導体産業を盛り上げる機運が高まっていると感じています。

半導体企業には、ここ京都の地がベストだと思っています。



会社概要

会社名	Anjet Research Lab株式会社
所在地	京都市西京区御陵大原1-39 京大桂ベンチャープラザ南館 2203号室
進出形態	一次投資
会社HP	https://anjet.com/ja-jp/

6-3 外資系企業インタビュー（株式会社Control Union Japan）

事業概要

- ・1920年にオランダ・ロッテルダムで設立。農業、食品、飼料、バイオマス分野等における試料の貨物検査、国際認証、証明書発行サービスを提供する独立認証機関として、現在、世界約80拠点で活動。
- ・2009年に東京に日本法人を設立し、2023年には神戸にバイオマス燃料の品質分析を専門に行うラボを設置。これにより、貨物検査、分析、認証、証明をワンストップで提供できる体制を確立。
- ・長年培った技術とノウハウを活かし、他社では通常2～3週間かかる検査結果を最短3日で提供する迅速性と、正確で信頼性のあるサービスが強み。



●関西への進出経緯を教えてください



当社の顧客である繊維事業者やバイオマス発電事業者が西日本に集中していたため、東京本社から審査員を派遣するとロスが発生しますが、関西からならサンプルを輸送する上でも利点があったという事情があります。当社は、特に九州に顧客が多いので北九州に拠点を置くという選択肢もあったのかもしれませんが、技術者の確保という点において、**関西の方が優秀な人材を確保しやすい**と考えました。

首都圏は、人材は豊富かもしれませんが、住みづらさは否めません。当社では、親会社がオランダ企業ということもあって社員のライフワークバランスに力を入れており、育児や介護といった社員のライフステージにあわせて柔軟に対応する方針を打ち出しています。そのためにも社員の働き方のオプションは多い方が良く、首都圏に比べて通勤時間が短く、物価も安い**関西は、「ライフワークバランスを実現する働き方」という選択肢を社員に提供できる**メリットもあります。実際に、現在5名いる神戸ラボの社員のうち、2名が子育てをしながら分析技術者として活躍してくれています。

●神戸の魅力は？

神戸は、**神戸空港や新神戸駅がオフィスや市中心部から30分以内というアクセスの良さ**があり、国内外への移動が便利なコンパクトシティです。この利便性は、神戸でのビジネス活動において大きな魅力の一つです。神戸空港の便数は今はまだ少ないものの、2025年からは国際チャーター便の運航が決定していますので、今後ますます利便性が向上し、神戸の国際化が進むことは間違いありません。世界的に見ると、**神戸はビジネス都市としては知名度が低いかもしれませんが、その分、穴場と言える**と思います。

●進出時には、どのような公的サポートを活用しましたか？

神戸への進出を決定した背景には、公的サポートが大きな役割を果たしました。

JETRO神戸：テンポラリーオフィス利用
兵庫県： 賃料補助
神戸市： 賃料補助、物件紹介、雇用補助

サポートの存在だけで選んだわけではありませんが、様々な支援があったことは、当社が神戸に進出する際の重要な誘因となったことは確かです。



●これから進出を考えている企業へのメッセージ

東京に一極集中している現代では、企業のリスク分散の観点から東京以外の拠点を設けることが重要です。関西でも多くの企業が大阪に集中していますが、**神戸には東京にも大阪にもないポテンシャル**があります。特に環境が豊かな神戸は、仕事にもプライベートにも充実を求める現代人にとって**ライフワークバランスがとりやすく、魅力的な場所**といえるでしょう。



社長 大村次郎氏

会社概要

会社名	株式会社Control Union Japan
所在地	兵庫県神戸市東灘区向洋町中1-17 アジア・ワン・センター6階
進出形態	二次投資
会社HP	https://www.controlunion.com/

6-3 外資系企業インタビュー（Polestar Holdings Japan株式会社）

事業概要

- ・ミャンマーで設立された、旅行代理店、輸出入事業、人材派遣を中心としたコングロマリット企業。
- ・2000年設立の旅行代理店Myanmar Polestarは日本をメインのターゲットとし、日本からミャンマーへのインバウンド、ミャンマーから日本へのアウトバウンドの双方を手がけています。その後設立された人材派遣会社Polestar Serviceは日本での就労を希望するミャンマー人の育成、送り出しを行っています。
- ・2023年、これらの会社を含めた7社がホールディングス化され、2024年8月にホールディングスの日本拠点が大阪に設立されました。



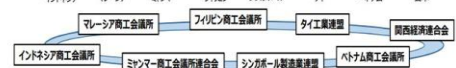
● 関西への進出経緯を教えてください

アジア・ビジネス創出プラットフォーム (ABCプラットフォーム)

目的: “アジア・日本におけるビジネスの創出、経済の活性化”

アジア各国と関西の経済団体が協力し、企業・団体間における人材、技術、サービス等の連携を促進し、双方でのビジネス創出、経済活性化につなげる。

体制: 1



活動:

①全体会議 活動方針の決定、成果・課題の共有

○各関係機関トップ層が参加し、年1回開催
○2019年4月5日に第1回全体会議を開催、第2回は2023年3月16日シンガポールで開催

当社は2023年、関西経済連合会(以下、関経連)が実施した「ABC CHALLENGE サポートプログラム」(※)に参加しました。その際、関経連に日本へのマーケット参入などの手助けをしていただき、関西の企業といくつかの商談が成立したことが、日本に進出するきっかけとなりました。東京に拠点を設けることも考えましたが、**関西の中小企業の決断の早さ**は、ミャンマーならびに当社の気質と似ています。

そして何より、**関経連に大きな力添えをいただいた**という経緯があり、関西への進出を決めました。

(※)関経連がアジア7カ国の経済団体と協力し、日本企業との協業や日本市場に関心を持つ参画国の企業に対して、ビジネス支援を行うために打ち出した事業。

● 関西の魅力は？

とにかく人が温かく、フランクで話がしやすいところは、関西の大きな魅力だと思います。また、京都や奈良には美しい文化史跡や遺跡、大阪にはUSJがあり、**観光素材が充実**しています。インフラや生活水準も安定していて、とても暮らしやすい地域です。ビジネスの観点からも、関西には人材の受け入れについて前向きに考えてくれる会社や人が多く、**当社のビジネスにとてもマッチしている地域**だと感じています。



● 進出時には、どのような公的サポートを活用しましたか？

関経連を通じて、以下のサポート機関を紹介いただき、登記の手続きを進めることができました。

IBPC大阪: ビジネスサポートオフィスの提供、行政書士の紹介

O-BIC: 登記費用の補助(10万円)

外資系企業の登記はプロセスが複雑なため、登記に慣れている**行政書士の方を紹介**していただいたことはとても有り難く、そのおかげでスムーズに手続きを進めることができました。その他にも、**関経連**には国や自治体などの公的機関、関連企業を紹介してもらい、進出準備を手厚くサポートしていただきました。

● これから進出を考えている企業へのメッセージ

関西に拠点を設けると決める前に、**実際にその地に泊まってみる、住んでみる**ことをおすすめします。サポートを提供してくれる機関やビジネスパートナーと繋がる機会になり、進出時のビジネスの大きな助けになると思います。



代表取締役社長
チョー・ミンティン氏

会社概要

会社名	Polestar Holdings Japan株式会社
所在地	大阪府大阪市、中央区瓦町2-3-8、SERENITE本町エコー1001
進出形態	一次投資
会社HP	www.myanmarpolestar.com

6-3 外資系企業インタビュー（サーボロボ・ジャパン株式会社）

事業概要

- ・カナダに本社を有するSERVO-ROBOTは、産業用溶接ロボットやコボットのリアルタイムによるインテリジェンス制御とモニタリングに特化した3Dロボットビジョンシステムとソフトウェアを提供するリーディングメーカーです。
- ・自動車、造船、建設、エネルギー、一般産業など、幅広い業界にレーザビジョンシステムを提供しています。



● 関西への進出経緯を教えてください



関西にオフィスを持つことで、日本法人を設立する前から当社と共にビジネスを行い、協力関係にあったパートナーや顧客に近くなることが最も重要なポイントでした。
また、交通手段が発達しており、国内外からのアクセスが容易だということもあって、新幹線の発着駅である新大阪駅にほど近い場所にオフィスを構えました。一時期、東京都内にもオフィスを置いていましたが、その後統合して吹田市に移転し、現在に至ります。

● 関西の魅力は？

当社は、2015年に先進センシングシステムの研究・開発を行うテクニカルセンターを大阪に開設していますが、将来的に生産ラインを立ち上げる場合でも、手頃なスペースを容易に確保できる環境が関西には整っていると思います。また、十分な数の専門スタッフを確保することができますし、関西から他の地域の顧客へのアクセスも便利です。顧客に近いことは、ビジネスの拡大に直結します。実際、当社では日本の主要なロボットメーカー本社とのパートナーシップを深めており、ビジネスはグローバルな広がりを見せています。



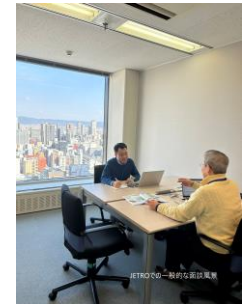
● 進出時には、どのような公的サポートを活用しましたか？

JETRO(東京・大阪)

：テンポラリーオフィス(東京)、物件紹介(大阪)

大阪市、IBPC大阪

：テンポラリーオフィス、物件紹介



● これから進出を考えている企業へのメッセージ

関西でのビジネス拡大は成果を上げていますので、この地に会社を設立するという我々の判断は正しかったと思っています。
関西は日本の中でも大規模で、経済や産業が発展した地域です。そのため、グローバルビジネスにとって多くのチャンスが広がっていると言えます。
これから日本への進出を考えている海外企業の皆様には、ぜひ関西への立地をご検討いただきたいと思います。



代表取締役社長
ジャン・ホルム・ボフロ

会社概要

会社名	サーボロボ・ジャパン株式会社
所在地	大阪府吹田市春日3丁目20-15 ギャレビアンコIII 204号
進出形態	一次投資
会社HP	https://servo-robot.com/